

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

11月
& 12月

福玉便り

ふ く た ま だ よ り

通巻 117 号

発行：『福玉便り』編集委員会 NPO 法人埼玉広域避難者支援センター・（一社）埼玉県労働者福祉協議会

協力：生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先：NPO 法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-2 1 ときわ会館 1F TEL0120-60-7722

福玉交流会 11月22日（土） @ With You さいたま

お墓はどうでしょうか？

避難元の土地はどうでしょうか？

相続手続きや相談はどの様にするの？

誰に相談したらいいの？

そんなお困り事にズバリ答えて下さるお助けマン・福島県内でご活躍の司法書士・高橋文郎先生をお迎えします。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております！

●日時：令和7年11月22日（土）

13時～16時 開場12時30分

●場所：With You さいたま（埼玉県男女共同参画推進センター）4階セミナー室

アクセス：

① JR 京浜東北線・高崎線・宇都宮線「さいたま新都心駅」から徒歩5分

② JR 埼京線「北与野駅」から徒歩6分

●内容：① 高橋先生の講義

② 質疑応答

③ 交流タイム



●お問い合わせ・申し込み

福玉相談センター

電話：0120-60-2222（フリーダイヤル）

メール：fukushima_soudan@yahoo.co.jp



眠れない日が続いているとき 気にかかることがあるとき 困っていることがあるとき
理由をはっきりしないけれど、誰かに話を聞いてもらいたいとき
いつでも気軽にお電話ください。



福玉相談センター 電話：0120-60-7722（フリーダイヤル）

火曜日・水曜日・木曜日（9：30～16：30）

電話で相談しづらい方はメールでもどうぞ。メール：fukushima_soudan@yahoo.co.jp

双葉の会

9月20日、加須市にて「双葉の会」が開催されました。双葉の会は約2ヶ月に一度、開催されています。加須をはじめとする埼玉県内に避難している方、埼玉県民の方、あるいはもっと遠方の方など、いつも30人以上が集まり、その日の講師のお話を伺います。

この日は、東京新聞の記者、山川剛史さんのお話でした。山川さんは、原発事故後の放射能汚染の実態を丁寧に測定し、それを記事



にしています。もしかしたら、東京新聞の大きなカラーマップの放射能汚染（食品・放射線量）の記事をご覧になったことがあるかもしれません。それらの調査・研究に山川さんは長年、関わり続け、発信し続けてくださっています。

この日のお話は、「食べ物」の話も多かったので、参加したみなさんは身近な話題に興味津々。山菜はどう下処理をしたら食べられるのか、きのこの汚染は土の汚染濃度より高くなることがある、あるいは川魚がなぜ、汚染濃度が高くなりやすいのかなど、調査・研究で得られた貴重な知見を詳しくお話してくださいました。そのため、参加者からたくさん質問が続き、予定の時間を超えて熱気ある時間となりました。

双葉の会では、いつも鵜沼久江さんが作った野菜を使った料理が準備されます。この日は、鵜沼さんが

双葉町で親しかった友人の娘さん（浪江町出身）もお手伝いに来てくれました。

メニューは、鵜沼さんの畑のナス・きゅうり・ゴーヤ・玉ねぎを使って、ナスと鳥の酒蒸し（大根おろし添え）、きゅうりとひき肉の春雨サラダ、じっくり炒めたオニオンスープ、ゴーヤのお漬物と、たくさんのお二ギリが振る舞われました。そして、双葉町から避難している女性（料理長）の差し入れ、オクラの黄色いお花が添えられた酢の物も。食べ物を囲んだ交流は、みなさんの笑顔が見られる和やかな時間です。

次回は11月15日。映画監督の堀切さとみさんの作品が観られる貴重な日となります。主にFacebookで告知が行われていますので、ぜひチェックしてみてください。

（編集部・吉田）

秋の阿武隈川

オオハシワタル・画

この絵は、震災が発生した前年の秋に福島市飯野町にある友人宅を訪れ、その帰り道にたまたま通り沿いから眺め、秋も深まった紅葉の美しい山の中を流れる阿武隈川溪谷の風景に感動して描いたものです。その時は、数ヶ月後に震災及び原発事故が発生するとは思えない程、美しい風景でした。正直、この溪谷の数キロ先には飯館村もあり阿武隈川ということもあり放射能に汚染されているのは事実です。今年の秋も自然は美しい紅葉の景色になるでしょう。でも訪れる人はいないかもしれません。何故なら放射能除染などされていない場所だからです。正直、福島市周辺には、ひと気無く自然美しいスポットが沢山あります。それゆえ放射能除染も手つかずになっているのも事実です。あの原発事故さえ無ければ、放射能汚染さえ無ければ、という福島の自然が美しければ美しい程、虚しい気持ちになります。そんなやるせ無い気持ちをこの絵を見て頂き、少しでも安らいで頂ければとても嬉しいです。



災対法・救助法改正シンポジウム報告

8月27日、「3・11から未来の災害復興制度を提案する会（通称…311変える会）」と日本NPOセンターの主催によるシンポジウム「災対法・救助法改正と今後の支援のあり方」変化を読み解き、次の災害に備える」が都内で開催されました。埼玉広域避難者支援センターから薄井・原田が参加しましたので、ご報告します。



今年5月の災害対策基本法・災害救助法の改正について解説がありました。今回の法改正の特徴として、「救助の種類」に72年ぶりのメニュー追加となる「福祉サービスの提供」が規定されたことや、広域避難にかわり自治体を超えて個人情報共有することが可能になったことが挙げられます。また、「被災者援護協力団体」の登録制度が創設されて、官民協働で災害対応を行う方向性も明確化されました。木村さんは、能登半島で震災直後に被災自治体と支援団体の連携に課題があったことや、在宅避難者などに十分な支援が届けられなかったことを挙げて、団体情報の「見える化」や事前連携の促進による支援の担い手の充実化を強調されていました。また菅野さんは、平時は民間などが提供している物資・住宅・

医療・福祉などのサービスを、災害時は自治体がすぐのニーズに応えてきたことの弊害を挙げて、「場所から人へ」の被災者支援の転換、「フェーズフリーな社会保障」と「餅は餅屋の災害対応」を強調されていました。

シンポジウム後半は、木村さんと、岡崎市役所の齊藤さん、全国社会福祉協議会の蓮子さん、3・11変える会の阿部さんによるパネルディスカッションで、今回の法改正を運用レベルでどのように活かしていくのが議論されました。論点として、災害ケースマネジメントの相談窓口の設置方法や、被災者情報の共有方法、自治体と支援団体が連携する会議体のあり方、などが挙げられました。

今回のシンポジウムを通して感じたのが、2011年の頃と比べて、災害時の福祉的な支援について大きな制度的進展が見られたということです。平時からの

連携と役割分担によって、いかに災害関連死を防ぐのかという問題意識が高まっていることを感じました。他方で、東日本大震災・福島原発事故の経験が踏まえ、と、県域をまたいだ長距離の広域避難の対応にはまだまだ課題が残っているようにも思いました。例えば、当時は「全国避難者情報システム」がありましたが、その意義と課題、今後に向けた改善点が何かをしつかりと検証する必要があると思います（この点は原田から質問させていただきました）。また、『福玉便り』で度々報じてきたように、「避難者」の定義や集計方法に様々な不備が明らかになりましたが、その検証も不十分だと感じています。埼玉広域避難者支援センターでは、他団体と協力しながら、この問題に継続的に取り組んでいきたいと考えています。読者の皆さんからも、ぜひご意見お寄せください。（編集部・原田）

ふるさとふくしま交流会

2025年11月15日（土）14:00～16:00

主催 福島県／共催 東京都、公益財団法人さわやか福祉財団

東京国際フォーラム ホール D5

東京都千代田区丸の内3丁目5番1号（JR有楽町駅より徒歩1分）

特別企画①福島県しゃくなげ大使

普天間かおりミニコンサート

特別企画②

クイズ「それは私です」

特別展示

西田敏行さんと震災復興の歩みパネル展

問い合わせ先 医療ネットワーク支援センター（主催者より業務委託） ☎ 03-6911-0582

各地の 交流会など

新型コロナウイルスの感染拡大により、交流会の流動的な状況が続いておりました。各交流会の感染対策については連絡先にお問い合わせください。なお、各交流会に参加される方は、引き続き体温測定の上でご参加いただき、参加中は消毒や換気にご協力ください。

①	加須市	双葉町民によるボランティアカフェ	090-5356-8778 (鵜沼さん)
⑥	加須市	オバトン	090-6526-8560 (藤井さん)
⑧	上尾市	東日本大震災に咲く会ひまわり	080-3091-6215 (橘さん)
⑩	熊谷市	くまがや結の会	090-7661-9236 (林崎さん)
⑬	川口市	ひまわりの会	080-5431-0123 (島田さん)
⑲	さいたま市	さいがい・つながりカフェ	080-5532-7380 tunagari.saitama@gmail.com
⑳	ふじみ野市	おあがんなんしょ交流会	090-5345-8408 (松舘さん)
㉔	川越市	ここカフェ@川越	070-5080-4494 (鈴木さん)
㉙	さいたま市	玉兎の会	090-6128-1948 (小林さん) https://gyokutonokai.wixsite.com/2018

①双葉町民によるボランティアカフェ

11/26(水) 13:30～15:30、12/24(水) 13:00～15:00 双葉町社会福祉協議会加須事務所
090-5356-8778 (鵜沼さん)

⑥オバトン

キャッスルきさい調理研修室にて食事交流会を10時～14時に行います。塗り絵教室は毎回11時から、ハーモニカ合唱・手話歌は木曜に音楽室で行っています。

11/11(火)、11/27(木)、12/9(火)、12/25(木) 10:00～14:00

キャッスルきさい 090-6526-8560 (藤井さん)

㉔ここカフェ@川越

皆様のご予定を調整しながら毎月交流会を行っています。場所はJUNホール、10時～です。
pororon311@gmail.com、070-5080-4494 (鈴木さん)

㉙玉兎の会

予約は要りません!お気軽にご参加ください。

11/8(土)、12/20(土) 10:30～12:00

With You さいたま セミナー室1 048-854-8703 (小林さん)

https://gyokutonokai.wixsite.com/2018

⑲さいがい・つながりカフェ

11/13(木)、11/27(木)、12/11(木) 11:00～15:00

With You さいたま和室

080-5532-7380、tunagari.saitama@gmail.com

原子力損害賠償・廃炉等支援機構からのご案内

東電福島原発事故の損害賠償についてお困りではありませんか?

「亡くなった家族の追加賠償の請求方法について知りたい」、「原発事故後、家族が精神疾患になり入退院を繰り返しているが、その分の請求をできないか」、「ADRの申し立てはどうすればよいか」等、原発事故の賠償についてお困りごとがあれば、避難指示区域内外、個人・法人を問わず、どなたでも無料でご相談いただけます。

埼玉県内では、相談会を年間2回開催しております(今年度は7月:加須、9月:川越)。今年度の埼玉県での相談会は完了しましたが、東京都では1月に開催予定です(詳細は次号の福玉便りでお知らせします)。また、【電話相談】や【弁護士事務所等での対面相談】もご利用いただけます。

【電話相談】 弁護士・行政書士にお電話で相談可能です! (※一部オンライン相談も可能)

*弁護士 (毎週火・木)、行政書士 (月～金)

フリーダイヤル: 0120-013-814

受付時間/ 10:00～13:00、14:00～17:00

[月～金(祝休日、年末年始を除く)]

【弁護士事務所等での対面相談】

埼玉弁護士会にお電話いただき、必ず「原子力損害賠償・廃炉等支援機構の無料相談を希望」とお伝えください。

埼玉弁護士会: 048-863-5255